

## 第1回 岡山県総合教育会議 議事録

1 日 時 平成27年4月3日(金) <開会：13時、閉会：13時40分>

2 場 所 県庁3階第1会議室

3 出席者 知 事 伊原木 隆太  
教育長 竹井 千庫  
教育委員 田野 美佐 梶谷 俊介 中島 義雄  
松田 欣也 上地 玲子

### 4 協議事項にかかる出席者の発言

#### (1) 岡山県総合教育会議運営要綱(案)について

事務局から運営要綱(案)説明、出席者全員、意見なしのため、要綱決定。

#### (2) 教育に関する大綱策定方針等について (議事進行：知事)

##### 【知事】

要綱第3条により議事を進行する。では、教育に関する大綱策定方針(案)についてである。

この大綱は、地方公共団体としての教育政策に関する方向性を明確化することを目的に策定することとされているもので、大綱の策定方針(案)について、事務局から説明する。

##### 【事務局】

「1 策定の趣旨」、教育に限らず、学術及び文化、スポーツの振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針を定めるものである。

「2 大綱の位置づけ」、県政の最上位計画である「晴れの国おかやま生き生きプラン」を基本とし、国の教育振興基本計画を参酌し、また県の現行の教育振興基本計画の成果や課題を踏まえて策定する。

「3 内容」、社会情勢の変化や本県の教育の現状と課題に加え、基本理念、さらに大きく5つの基本方針に沿った施策を記述することを考えている。下段に参考として、「生き生きプラン」との関係を記載した図を示している。

「(1) 子どもたちの学習意欲を喚起し、学力を向上させる魅力ある学校づくりの推進」は、学力向上プログラムの重点施策、子どもたちが落ち着いて学習できる環境の整備、教師の教える技術の向上という内容を踏まえた記述を考えている。

「(2) 学びのチャレンジ精神の育成」は、学力向上プログラムの重点施策、子どもたちの学力が伸びる仕組みづくりをベースに考えている。

「(3) 家庭・地域の教育力の向上」は、学力向上プログラムの重点施策、家庭における学習時間の確保と、地域で支える子どもの学習環境の整備をベースに記述を考えている。

「(4) 規範意識と思いやりの心、健やかな体の育成」は、教育推進プログラム

の関連部分を踏まえた記述を考えている。

「(5) 生涯学習環境の整備と文化・スポーツの振興」は、生きがい・元気づくり支援プログラムのうち、関連部分をベースにして記載することを考えている。

5つの基本方針に記載する施策は、現時点で想定している例で、具体的内容は、本会議で議論を受けて検討する予定である。

**【知事】**

意見など順次発言をお願いします。

**【教育委員】**

「生き活きプラン」を基本として、子どもたちのために教育県岡山が復活できるように、いろいろな意見を聞きながら皆さんと一緒に議論し、大綱を策定していきたい。

**【教育委員】**

私は、財界人の立場から、どういう教育行政がいいのか意見を言っていく立場と理解している。

大綱については、「生き活きプラン」をベースに、国の教育基本計画等を参酌しながら話をするということで十分だと思う。

「たくましさ」をどうやって育てるかはなかなか難しい。確かに勉強もできないよりはできた方がいいし、優しい方がいいが、人としてたくましくないとなかなか仕事は前に進まない。我々、社会で仕事をしている人間としては、やはりそういう人をぜひ育てていただきたい。この大綱の中で具体的にどうするかという案が少し入ってくると、よりよいのではないかと思う。

**【教育委員】**

「生き活きプラン」をベースということだが、今までも岡山県はいろいろな取り組みをしてきており、もともと大変素晴らしいものがたくさんあったが、それをきちんと踏まえて実行ができていなかったのではないかと思う。「生き活きプラン」をもう一度見直し、それを確認をして徹底的に繰り返しやっていくことで、子どもたちの健全な育成につながっていくのではないかと思う。

**【知事】**

頑張る学校応援事業で表彰された校長先生の話や資料を見ると、大半の先生が凡事徹底、もしくはそれに類することを挙げているのが大変印象的である。特別なことをするのではなく、分かっているがなかなか徹底できないことを徹底してすると何か効果が出るというのが私の印象である。

**【教育委員】**

この大綱は、県内の子どもたちの教育がより高まることを考えて作っていないといけないと思う。教育委員を務める中で、県として独自にできることと、市町村教育委員会と連動し、協働してやっていかないとできないことがあるのを非常に痛感している。

県は、これから策定する市町村教育委員会に対して、しっかり手本となる大綱をつくらないといけないし、具体的に、内容が市町村に伝わっていくことをしていかないといけないと思う。しっかり連携の取れるものをつくっていくという視点で一

緒に参画したい。

#### 【教育委員】

この大綱を基に、今後、県の教育振興基本計画がつくられると思うので、その意味で非常に重要な大綱になると思う。

この大綱を知事と一緒にすることは、教育委員会と知事部局との連携が大変取りやすくなる。やはり教育の問題は教育委員会だけでなく、いろいろな部局が絡むこともたくさんあると思う。

しかもこの大綱に、子どもの教育だけではなく、教育、学術、文化、スポーツまで入るということは、生涯学習を含めて大人の教育をどうするかも絡むことになる。大人がどう育つか、子どもの育ちにもつながるので、その部分も踏まえながら、今後詰めていくことができればと思う。

#### 【知事】

私一人が入っているのではなくて、知事部局が関われる。一緒に協力できることになるので、ぜひより連携していきましょう。

#### 【教育長】

策定の趣旨にも書いてあるが、要するに教育だけではなくて文化、スポーツといった総合的な施策を大綱に入れていく。県教育委員会としても、「生き生きプラン」をベースにしていくという整理の方向でいいが、「生き生きプラン」は焦点化し、重点化していったものを挙げているので、大綱に入れていただいているのが、(1)の「高等学校段階の教育の充実」。やはり、我々は県立学校を直轄で所管しているので、今後の高等学校をどうしていくのかもやっぱり大綱の中に入れて、知事と議論していく必要があるとに思っている。

最近地方創生の議論が進んでおり、県でも推進本部をつくり、検討を進めているので、地方創生、岡山を創生していく中で、学校の役割は何かが入っていた方が分かりやすい。それは県立学校の再編整備の問題にもなる。小中学校の統廃合についての県としての役割の明確化にもつながると思う。現段階ではその2点ほどと思っている。

「生き生きプラン」そのものは重点化しているので、基本方針の中で特に(1)、(2)、(3)、(4)あたりが、まずは県教育委員会として、あるいは知事と一緒にやっていくものとしてより明確に分かると学校現場も分かりやすいと感じている。

#### 【知事】

私も、これまで考えてきたのは(1)、(2)、(3)、(4)で、(5)は少し広いと感じている。(5)は大事なことだ。高校については、小学校、中学校よりも随分うまくいっているが、当然ながら大切なことである。岡山県の教育を考えたら、そこも当然視野に入れて考えていきたい。

#### 【教育委員】

この大綱を策定することで、現場の先生方が一緒にみんなで頑張ろう思えばよい。県民みんなで盛り上げていけるような大綱を策定して、県民に知らせることができれば、さらに意識付けができ、県民みんなでやっていける。やはりそこまで一丸となってできれば、もっと教育のみならず、地域が全部活性化していくのではな

いかと感じた。

**【教育委員】**

教育長から話があった地域創生とか学校の役割とかは確かに大きい。これまで高校等を統廃合してきた結果としていろいろな問題も起きてきているので、これから先、子どもたちの数が減ってくるという実態の中で、どのように学校を考えていくかということは、もう少し地域ときちんと話をしていく必要があると思う。やはり小・中にしても、高校にしても、地域のある意味中核であるので、地域の産業界を含めいろいろな関係者と「学校をどう守っていくか」を話しながら、次の学校のかたちを考えていく必要があると思う。

**【知事】**

知事部局と一緒に話せるようになったので、ぜひ活用していただきたい。

**【教育委員】**

県民みんなが一丸となつてとは、やはり学校が軸となり、地域のリーダー的な存在として地域を巻き込んでやっていくことがこれから重要になってくると思う。少子化の中でどれだけ学校を守っていけるかは、やはりその地域に力がないと難しいと思うので、そういった教育現場を利用した地域の活性化も視野に入れていけるとよいと思う。

**【知事】**

地域からの力をいただいて、よくなった学校は多いが、必ずそうしなければならないというわけではないようだ。

地域の皆さんに協力をしていただいた取り組みが100%成功しているわけではないが、「自分たちだけでやる。」よりも、「一緒にやりたい。お願いします。」というほうが、かなり成功率が高い取組になる。

**【教育委員】**

学校がいいから地域が良くなるということもある。お互いだと思う。

**【知事】**

地域と切り離して学校だけ良くなるということも、多分ないだろう。

**【教育委員】**

教育長が、地方創生の取組を入れたらとを言われたが、やはり幼・小・中・高と教育が行われ、一貫性を持って連動していく中で、最後に必要なのは、出口でどう企業と結び付けていくのか、また地域の活力にどうつなげていくのかである。それには、これからもっとそれぞれの学校教育に個性を求めていかないといけないと思う。それぞれの地域の実情が違うように、そのエリア、エリアの中で求める教育も検討して考えていかないといけないと思う。

それと、地方創生の取組で見たとき、昔の高校の学区に比べ今はより広がっており、高校生が流動的に動いている。例えば、津山高校に津山市内から入学をする子が今は55%で、45%は林野、美作、真庭市から流入してきている。学区一つをどうとらえていくのかで、人の動きにもつながってくる。またそれぞれの地域特性のことも考えていかないと、県北部はどんどん人が減っている中でも、学校の役割はその地域の基盤整備の中で非常に大きなウエートを持っており、考えていかないと

けないと思う。

#### 【教育委員】

教育委員会は、今まで大学はほとんどノータッチで来ていたと思うが、逆に教育に関する大綱となると、大学とどう絡んでいくかというようなことも考えていく必要がある。岡山県はかなり大学が多いので、それを教育全体にどう生かしていくのか、また地域の活性化にどうつなげていくかという観点で少し議論をしてみると、また新たな道が見えてくる気がする。

#### 【教育長】

議会でも「たくましさをどう育てるのか」という質問があり、確かに（１）から（５）までの中で深く読んでいけば読めないことはないが、自然体験的な活動とか、規範意識のあたりにたくましさというものを、大綱の中に少し見えるようにしておく必要がある。

今日、小・中・高の新任校長の前で１時間ほど心構え等を話した。（１）の「教師の教える技術の向上」、指導力の向上の大前提として、やはり教師としての使命感とか強い思いとか意識の問題が要るかと思う。校長や教頭は、県教委の考え方を理解してくれてきているが、担任レベルになると、県教委が言っていることより目の前の子どものことに追われている。しかし、目の前の子どものよりよい成長のためには、県教委や市町村教委が言っていることや、県がやっていることを踏まえてやってもらう必要がある。そのためには、やはり技術の向上だけではなく、意識を高めて技術を高めていくという面をきちんと言ったほうがよいと思った。

#### 【知事】

一生懸命頑張っている生徒指導の先生とか校長先生、教頭先生、担任の先生は、大きく意見が違うということはない。それぞれ意見はあるが、まず思いを共有して、具体論で言えば、まず今何が必要なのかというところだろう。

#### 【教育長】

頑張る学校応援事業の優良実践校の話が出たが、優良実践校へ行った時、凡事徹底の部分と教職員に一体感があった。50代の先生が多いが、あいさつしたら30代、40代のように非常に一体感と元気がある。子どもも非常にあいさつをよくするし、前向きだ。やはり、これは意識の問題だろう。

#### 【教育委員】

岡山県にFOS少年団があるが、どんどん減ってきている。ボーイスカウトなどの社会貢献活動をする団体への参加も減ってきている。いかに子どもたちにそういう社会的な活動をやってもらうかという点も、もう少し広める必要があると思う。それと学校の教育が両輪となって、たくましさとか規範意識みたいなものが出てくると思う。そのあたりを、もう少し県として、考えていく必要があると思う。

#### 【知事】

よく言われるのが、勉強以外のスポーツだったり社会活動を頑張ると学力を犠牲にする、トレードオフみたいなとらえ方をする保護者の方もいる。立場上、教育関係の本を読むが、そういう活動は、いろいろな立場の人たちと協力をしたり、時にはしかられてみたりすることになり、脳の発達には大事らしい。

これからいろいろな人と協力をして仕事をするとき、いきなり社会人になり初めて年上の人としゃべるようでは怖い。私が事例で確かめたわけではないが、本当にいろいろな活動をすることが、勉強にも多分、損にはなっていないと思う。

**【教育委員】**

例えば、前にテレビかなにかで見たが、小さいときに音楽をすると、脳神経や器官が発達して勉強ができるという話もあるので、文化とかスポーツという観点も重要だと思う。

**【知事】**

5教科も大事だが、それ以外の音楽とか体育があるのは、これまでのいろいろな経験の積み重ねだろう。

現役で子育てをしている方に教育委員に入っていただいた。子育て中にママ友から聞いた個別の話をこのような大事な場に持ち出すのはどうかということがあるかもしれないが、すべての意見は個別の意見の積み重ねである。私自身も子育て中のパパである。1人もしくは数名の意見が多数と重なっているということも多々あると思う。1つの意見だけでずっと押し通すというのは、多分よくないだろうが、ぜひ具体的なお話もこれからまた出していただければありがたい。

**【教育長】**

意見はだいたい出そろったと思う。

**【知事】**

いただいたご意見を、今後素案をまとめていく中で生かしていく。

大綱の策定に関する今後のスケジュールを事務局から説明する。

**【事務局】**

議題2の資料の裏面のとおり、次回は、5月の下旬を予定している。本日の概要を踏まえ、大綱の素案というかたちでお示しすることを考えている。6月には、パブリックコメントを実施し、議会での議論、パブリックコメントでの意見を踏まえ、加筆修正する。最後7月から8月にかけて開催し3回目の会議を経て大綱を決定する予定である。

**【知事】**

以上で第1回岡山県総合教育会議を終了する。